

No.58 病院（庄内地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	1,288	361	927	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	75	5	70	6%	1%	8%
II 新生物	248	100	148	19%	28%	16%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	7	2	5	1%	1%	1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	64	3	61	5%	1%	7%
V 精神及び行動の障害	69	15	54	5%	4%	6%
VI 神経系の疾患	41	7	34	3%	2%	4%
VII 眼及び付属器の疾患	54	3	51	4%	1%	6%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	171	63	108	13%	17%	12%
X 呼吸器系の疾患	79	25	54	6%	7%	6%
X I 消化器系の疾患	126	54	72	10%	15%	8%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	49	2	47	4%	1%	5%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	97	24	73	8%	7%	8%
X IV 尿路性器系の疾患	39	8	31	3%	2%	3%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	16	8	8	1%	2%	1%
X VI 周産期に発生した病態	2	2	—	0%	1%	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	3	2	1	0%	1%	0%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	23	5	18	2%	1%	2%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	82	33	49	6%	9%	5%
X X 保健サービスの利用	43	—	43	3%	—	5%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	211	89	122	16%	25%	13%
II 糖尿病	35	3	32	3%	1%	3%
III 虚血性心疾患	24	8	16	2%	2%	2%
IV 脳血管疾患	56	32	24	4%	9%	3%
V 周産期	21	12	9	2%	3%	1%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.58 病院の患者総数は 1,288 名であり、そのうち入院患者は 361 名、外来患者は 927 名であった。No.58 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは新生物であり、患者総数は 248 名(19%)であった。そのうち、入院患者は 100 名(28%)、外来患者が 148 名(16%)であった。具体的には胃の悪性新生物の患者が多く、患者総数が 45 名(3%)、入院患者が 22 名(6%)、外来患者が 23 名(2%)であった。

次に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 171 名(13%)であった。そのうち、入院患者は 63 名(17%)、外来患者が 108 名(12%)であった。具体的には本態性(原発性)高血圧(症)の患者が多く、外来患者が 42 名(5%)であった。その他には、脳梗塞の患者も多かった。

三番目に患者数が多いのは消化器系の疾患であり、患者総数は 126 名(10%)であった。そのうち、入院患者は 54 名(15%)、外来患者が 72 名(8%)であった。具体的には胃潰瘍の患者が多く、患者総数が 29 名(2%)、入院患者が 3 名(1%)、外来患者が 26 名(3%)であった。その他には、胆石症の患者も多かった。

No.59 病院（庄内地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	188	74	114	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	1	—	1	1%	—	1%
II 新生物	3	3	—	2%	4%	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	1	1	—	1%	1%	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	18	3	15	10%	4%	13%
V 精神及び行動の障害	9	4	5	5%	5%	4%
VI 神経系の疾患	18	13	5	10%	18%	4%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	1	—	1	1%	—	1%
IX 循環器系の疾患	70	30	40	37%	41%	35%
X 呼吸器系の疾患	25	6	19	13%	8%	17%
X I 消化器系の疾患	5	1	4	3%	1%	4%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	4	1	3	2%	1%	3%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	10	5	5	5%	7%	4%
X IV 尿路性器系の疾患	4	2	2	2%	3%	2%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	5	1	4	3%	1%	4%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	11	4	7	6%	5%	6%
X X 保健サービスの利用	3	—	3	2%	—	3%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	2	2	—	1%	3%	—
II 糖尿病	7	2	5	4%	3%	4%
III 虚血性心疾患	1	—	1	1%	—	1%
IV 脳血管疾患	32	27	5	17%	36%	4%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.59 病院の患者総数は 188 名であり、そのうち入院患者は 74 名、外来患者は 114 名であった。No.59 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 70 名(37%)であった。そのうち、入院患者は 30 名(41%)、外来患者が 40 名(35%)であった。具体的には本態性(原発性)高血圧(症)の患者が多く、患者総数が 31 名(16%)、入院患者が 1 名(1%)、外来患者が 30 名(26%)であった。その他には、脳梗塞の患者も多かった。

次に患者数が多いのは呼吸器系の疾患であり、患者総数は 25 名(13%)であった。そのうち、入院患者は 6 名(8%)、外来患者が 19 名(17%)であった。具体的には喘息の患者が多く、患者総数が 9 名(5%)、入院患者が 3 名(4%)、外来患者が 6 名(5%)であった。その他には、その他の急性上気道感染症の患者も多かった。

三番目に患者数が多いのは神経系の疾患であり、患者総数は 18 名(10%)であった。そのうち、入院患者は 13 名(18%)、外来患者が 5 名(4%)であった。具体的にはアルツハイマー病の患者が多く、入院患者が 7 名(9%)であった。

No.60 病院（庄内地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	163	44	119	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	3	1	2	2%	2%	2%
II 新生物	7	1	6	4%	2%	5%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	1	—	1	1%	—	1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	15	—	15	9%	—	13%
V 精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	—
VI 神経系の疾患	11	5	6	7%	11%	5%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	73	13	60	45%	30%	50%
X 呼吸器系の疾患	10	7	3	6%	16%	3%
X I 消化器系の疾患	4	2	2	2%	5%	2%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	4	3	1	2%	7%	1%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	12	1	11	7%	2%	9%
X IV 尿路性器系の疾患	3	2	1	2%	5%	1%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	1	1	—	1%	2%	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	14	8	6	9%	18%	5%
X X 保健サービスの利用	5	—	5	3%	—	4%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	7	1	6	4%	2%	5%
II 糖尿病	5	—	5	3%	—	4%
III 虚血性心疾患	7	—	7	4%	—	6%
IV 脳血管疾患	21	11	10	13%	25%	8%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.60 病院の患者総数は 163 名であり、そのうち入院患者は 44 名、外来患者は 119 名であった。No.60 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 73 名(45%)であった。そのうち、入院患者は 13 名(30%)、外来患者が 60 名(50%)であった。具体的には本態性(原発性)高血圧(症)の患者が多く、外来患者が 40 名(34%)であった。

No.61 病院（庄内地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	488	250	238	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	6	3	3	1%	1%	1%
II 新生物	20	15	5	4%	6%	2%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	2	1	1	0%	0%	0%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	12	3	9	2%	1%	4%
V 精神及び行動の障害	7	5	2	1%	2%	1%
VI 神経系の疾患	27	17	10	6%	7%	4%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	173	118	55	35%	47%	23%
X 呼吸器系の疾患	26	16	10	5%	6%	4%
X I 消化器系の疾患	46	19	27	9%	8%	11%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	7	3	4	1%	1%	2%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	29	5	24	6%	2%	10%
X IV 尿路性器系の疾患	67	11	56	14%	4%	24%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	18	12	6	4%	5%	3%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	40	22	18	8%	9%	8%
X X 保健サービスの利用	8	—	8	2%	—	3%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	13	12	1	3%	5%	0%
II 糖尿病	4	1	3	1%	0%	1%
III 虚血性心疾患	14	12	2	3%	5%	1%
IV 脳血管疾患	125	90	35	26%	36%	15%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.61 病院の患者総数は 488 名であり、そのうち入院患者は 250 名、外来患者は 238 名であった。No.61 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 173 名(35%)であった。そのうち、入院患者は 118 名(47%)、外来患者が 55 名(23%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 93 名(19%)、入院患者が 63 名(25%)、外来患者が 30 名(13%)であった。

次に患者数が多いのは尿路性器系の疾患であり、患者総数は 67 名(14%)であった。そのうち、入院患者は 11 名(4%)、外来患者が 56 名(24%)であった。具体的には慢性腎不全の患者が多く、患者総数が 59 名(12%)、入院患者が 6 名(2%)、外来患者が 53 名(22%)であった。

No.62 病院（庄内地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	1,279	420	859	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	36	6	30	3%	1%	3%
II 新生物	246	122	124	19%	29%	14%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	10	2	8	1%	0%	1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	73	12	61	6%	3%	7%
V 精神及び行動の障害	32	1	31	3%	0%	4%
VI 神経系の疾患	62	15	47	5%	4%	5%
VII 眼及び付属器の疾患	27	2	25	2%	0%	3%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	21	5	16	2%	1%	2%
IX 循環器系の疾患	152	80	72	12%	19%	8%
X 呼吸器系の疾患	111	32	79	9%	8%	9%
X I 消化器系の疾患	124	25	99	10%	6%	12%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	47	6	41	4%	1%	5%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	96	21	75	8%	5%	9%
X IV 尿路性器系の疾患	60	21	39	5%	5%	5%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	13	8	5	1%	2%	1%
X VI 周産期に発生した病態	1	1	—	0%	0%	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	7	2	5	1%	0%	1%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	31	9	22	2%	2%	3%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	100	45	55	8%	11%	6%
X X 保健サービスの利用	30	5	25	2%	1%	3%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	183	111	72	14%	26%	8%
II 糖尿病	38	7	31	3%	2%	4%
III 虚血性心疾患	18	10	8	1%	2%	1%
IV 脳血管疾患	51	39	12	4%	9%	1%
V 周産期	21	11	10	2%	3%	1%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.62 病院の患者総数は 1,279 名であり、そのうち入院患者は 420 名、外来患者は 859 名であった。No.62 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは新生物であり、患者総数は 246 名(19%)であった。そのうち、入院患者は 122 名(29%)、外来患者が 124 名(14%)であった。具体的にはその他の新生物の患者が多く、患者総数が 59 名(5%)、入院患者が 11 名(3%)、外来患者が 48 名(6%)であった。その他には、胃の悪性新生物の患者も多かった。

次に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 152 名(12%)であった。そのうち、入院患者は 80 名(19%)、外来患者が 72 名(8%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 32 名(3%)、入院患者が 25 名(6%)、外来患者が 7 名(1%)であった。

三番目に患者数が多いのは消化器系の疾患であり、患者総数は 124 名(10%)であった。そのうち、入院患者は 25 名(6%)、外来患者が 99 名(12%)であった。具体的にはその他の歯及び歯の支持組織の障害の患者が多く、外来患者が 20 名(2%)であった。

No.63 病院（庄内地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	415	276	139	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	1	1	—	0%	0%	—
II 新生物	—	—	—	—	—	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	—	—	—	—	—	—
V 精神及び行動の障害	393	265	128	95%	96%	92%
VI 神経系の疾患	19	8	11	5%	3%	8%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	1	1	—	0%	0%	—
X 呼吸器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X I 消化器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	1	1	—	0%	0%	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	—	—	—	—	—	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	—	—	—	—	—	—
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	—	—	—	—	—	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	1	1	—	0%	0%	—
V 周産期	1	1	—	0%	0%	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.63 病院の患者総数は 415 名であり、そのうち入院患者は 276 名、外来患者は 139 名であった。No.63 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは精神及び行動の障害であり、患者総数は 393 名(95%)であった。そのうち、入院患者は 265 名(96%)、外来患者が 128 名(92%)であった。具体的には統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害の患者が多く、患者総数が 267 名(64%)、入院患者が 218 名(79%)、外来患者が 49 名(35%)であった。その他には、気分[感情]障害(躁うつ病を含む)、精神遅滞の患者も多かった。

No.64 病院（庄内地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	116	48	68	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	6	2	4	5%	4%	6%
II 新生物	14	10	4	12%	21%	6%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	2	—	2	2%	—	3%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	19	1	18	16%	2%	26%
V 精神及び行動の障害	2	2	—	2%	4%	—
VI 神経系の疾患	3	—	3	3%	—	4%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	34	13	21	29%	27%	31%
X 呼吸器系の疾患	8	4	4	7%	8%	6%
X I 消化器系の疾患	9	3	6	8%	6%	9%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	4	2	2	3%	4%	3%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	7	5	2	6%	10%	3%
X IV 尿路性器系の疾患	5	3	2	4%	6%	3%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	1	1	—	1%	2%	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1	1	—	1%	2%	—
X X 保健サービスの利用	1	1	—	1%	2%	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	13	9	4	11%	19%	6%
II 糖尿病	9	1	8	8%	2%	12%
III 虚血性心疾患	4	1	3	3%	2%	4%
IV 脳血管疾患	10	10	—	9%	21%	—
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.64 病院の患者総数は 116 名であり、そのうち入院患者は 48 名、外来患者は 68 名であった。No.64 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 34 名(29%)であった。そのうち、入院患者は 13 名(27%)、外来患者が 21 名(31%)であった。具体的には本態性(原発性)高血圧(症)の患者が多く、外来患者が 17 名(25%)であった。

次に患者数が多いのは内分泌、栄養及び代謝疾患であり、患者総数は 19 名(16%)であった。そのうち、入院患者は 1 名(2%)、外来患者が 18 名(26%)であった。具体的には高脂血症の患者が多く、患者総数が名()、入院患者が名()、外来患者が 10 名(15%)であった。その他には、インスリン非依存性糖尿病の患者も多かった。

三番目に患者数が多いのは新生物であり、患者総数は 14 名(12%)であった。そのうち、入院患者は 10 名(21%)、外来患者が 4 名(6%)であった。具体的には胃の悪性新生物の患者が多く、入院患者が 5 名(10%)であった。その他には、気管、気管支及び肺の悪性新生物の患者も多かった。

No.65 病院（庄内地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	125	41	84	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	4	2	2	3%	5%	2%
II 新生物	41	14	27	33%	34%	32%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	3	2	1	2%	5%	1%
V 精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	—
VI 神経系の疾患	—	—	—	—	—	—
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	11	3	8	9%	7%	10%
X 呼吸器系の疾患	6	3	3	5%	7%	4%
X I 消化器系の疾患	29	15	14	23%	37%	17%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	6	—	6	5%	—	7%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1	1	—	1%	2%	—
X IV 尿路性器系の疾患	2	1	1	2%	2%	1%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	1	—	1	1%	—	1%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2	—	2	2%	—	2%
X X 保健サービスの利用	19	—	19	15%	—	23%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	35	11	24	28%	27%	29%
II 糖尿病	—	—	—	—	—	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	4	3	1	3%	7%	1%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.65 病院の患者総数は 125 名であり、そのうち入院患者は 41 名、外来患者は 84 名であった。No.65 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは新生物であり、患者総数は 41 名(33%)であった。そのうち、入院患者は 14 名(34%)、外来患者が 27 名(32%)であった。具体的には胃の悪性新生物の患者が多く、患者総数が 14 名(11%)、入院患者が 3 名(7%)、外来患者が 11 名(13%)であった。その他には、結腸の悪性新生物の患者も多かった。

次に患者数が多いのは消化器系の疾患であり、患者総数は 29 名(23%)であった。そのうち、入院患者は 15 名(37%)、外来患者が 14 名(17%)であった。具体的には腸閉塞の患者が多く、入院患者が 8 名(20%)であった。その他には、胃潰瘍の患者も多かった。

三番目に患者数が多いのは保健サービスの利用であり、外来患者が 19 名(23%)であった。具体的にはそれ以外の検査・検診・管理の患者が多く、外来患者が 19 名(23%)であった。

No.66 病院（庄内地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	384	166	218	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	16	6	10	4%	4%	5%
II 新生物	37	18	19	10%	11%	9%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	5	2	3	1%	1%	1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	10	5	5	3%	3%	2%
V 精神及び行動の障害	4	4	—	1%	2%	—
VI 神経系の疾患	14	3	11	4%	2%	5%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	1	1	—	0%	1%	—
IX 循環器系の疾患	39	25	14	10%	15%	6%
X 呼吸器系の疾患	39	35	4	10%	21%	2%
X I 消化器系の疾患	23	15	8	6%	9%	4%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	27	8	19	7%	5%	9%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	71	11	60	18%	7%	28%
X IV 尿路性器系の疾患	51	13	38	13%	8%	17%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	1	1	—	0%	1%	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	3	—	3	1%	—	1%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	10	7	3	3%	4%	1%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	32	12	20	8%	7%	9%
X X 保健サービスの利用	1	—	1	0%	—	0%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	26	15	11	7%	9%	5%
II 糖尿病	3	2	1	1%	1%	0%
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	24	15	9	6%	9%	4%
V 周産期	4	1	3	1%	1%	1%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.66 病院の患者総数は 384 名であり、そのうち入院患者は 166 名、外来患者は 218 名であった。No.66 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは筋骨格系及び結合組織の疾患であり、患者総数は 71 名(18%)であった。そのうち、入院患者は 11 名(7%)、外来患者が 60 名(28%)であった。具体的には脊椎障害(脊椎症を含む)の患者が多く、患者総数が 23 名(6%)、入院患者が 2 名(1%)、外来患者が 21 名(10%)であった。その他には、関節症の患者も多かった。

次に患者数が多いのは尿路性器系の疾患であり、患者総数は 51 名(13%)であった。そのうち、入院患者は 13 名(8%)、外来患者が 38 名(17%)であった。具体的には慢性腎不全の患者が多く、患者総数が 34 名(9%)、入院患者が 3 名(2%)、外来患者が 31 名(14%)であった。

三番目に患者数が多いのは呼吸器系の疾患であり、患者総数は 39 名(10%)であった。そのうち、入院患者は 35 名(21%)、外来患者が 4 名(2%)であった。具体的には肺炎の患者が多く、入院患者が 25 名(15%)であった。

No.67 病院（庄内地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	83	48	35	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	1	1	—	1%	2%	—
II 新生物	—	—	—	—	—	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	—	—	—	—	—	—
V 精神及び行動の障害	71	39	32	86%	81%	91%
VI 神経系の疾患	8	7	1	10%	15%	3%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	2	1	1	2%	2%	3%
X 呼吸器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X I 消化器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1	—	1	1%	—	3%
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	—	—	—	—	—	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	—	—	—	—	—	—
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	—	—	—	—	—	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	1	1	—	1%	2%	—
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.67 病院の患者総数は 83 名であり、そのうち入院患者は 48 名、外来患者は 35 名であった。No.67 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは精神及び行動の障害であり、患者総数は 71 名(86%)であった。そのうち、入院患者は 39 名(81%)、外来患者が 32 名(91%)であった。具体的には血管性及び詳細不明の認知症の患者が多く、患者総数が 38 名(46%)、入院患者が 37 名(77%)、外来患者が 1 名(3%)であった。その他には、統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者も多かった。

次に患者数が多いのは神経系の疾患であり、患者総数は 8 名(10%)であった。そのうち、入院患者は 7 名(15%)、外来患者が 1 名(3%)であった。具体的にはアルツハイマー病の患者が多く、患者総数が 8 名(10%)、入院患者が 7 名(15%)、外来患者が 1 名(3%)であった。